

(3) 地域との合意形成を目指したフィールド実習

■実施概要

概 要：洋上風力発電の基礎的知識に関する講義に加えて、地域社会との共生に関する基本知識と対話技術、ならびに沿岸域の環境修復に関する基礎知識を座学と実習で学ぶ。

受講条件：大学院生および大学卒業程度の基礎学力を有することが望ましい。

到達目標：１）事業の導入過程における地域産業への共生について理解する。

２）合意形成における論点について理解し、またその調査手法について理解する。

３）聞き取り調査の手法を理解し、実践できる。

４）洋上風力発電事業の導入に伴う地域への共生を想定し、提案できる。

講義形式：録画した講義を視聴するオンデマンド授業と北海道函館市および江差町において実習、ならびにオンラインでの総合討論を行う。また質疑応答は、メールで行う。

受 講 料：165,000 円

講義予定日：後期（10 月 1 日～1 月 31 日）

■2026 年度後期実施計画：全 10 回（1 回 90 分）

	講義担当者	授業のテーマ	内容	日程
1	北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 宮下 和士 教授	洋上風力発電導入プロセスと地域産業	初期計画、調査、設計、建設、運用までの各段階の特徴、地域産業の種類と洋上風力発電のシナジー効果、先行事例などを概説する。	10/1
2	北海道大学サステナビリティ推進機構 加藤 悟 教授	合意形成における論点	合意形成プロセスにおける課題設定およびステークホルダー間の対立解消や信頼形成の手法を概説する。	10/8
3	北海道大学サステナビリティ推進機構 加藤 悟 教授	調査計画の策定	フィールドワークの技法、インタビュー技術、予備調査の手法を学ぶ。	10/15
4	北海道大学サステナビリティ推進機構 加藤 悟 教授	合意形成プロセスにおける課題設定	データ整理と分析手法および効果的なプレゼン技術について学ぶ。	10/22
5	積丹町役場 農林水産課 水鳥 純雄 水産業技術指導員	磯焼けと藻場再生	磯焼け対策と藻場再生の地域連携を学ぶ。	10/29
6	五島市総務企画部未来創造課ゼロカーボンシティ推進班 川口 祐樹 係長	特別講義：洋上風力発電の受け入れと地域の変化	洋上風力発電導入に伴う行政・企業の調整過程や、地域住民との協議・受け入れにおける課題と実際の対応事例、導入後の地域の変化について学ぶ。	11/5
7	北海道大学大学院水産科学研究院 安間 洋樹教授 北海道大学地域水産業共創センター 福田 覚 教授 今村 聖祐 特定専門職員	現地調査（噴火湾・太平洋域）	地域との懇話会Ⅰ（漁業者、漁協、地域住民、役場等との対話演習）	11/16
8	北海道大学大学院水産科学研究院 安間 洋樹教授	現地調査（日本海域）	地域との懇話会Ⅱ（漁業者、漁協、地域住民、役場等との対話演習）。	11/17

	北海道大学 地域水産業共創センター 福田 覚 教授 今村 聖祐 特定専門職員			
9	北海道大学サステナビリティ推進機構 加藤 悟 教授 根本 和宜 教授 北海道大学大学院 水産科学研究院 安間 洋樹 教授 北海道大学 地域水産業共創センター 福田 覚 教授 今村 聖祐特定専門職員	総合討論 1	全体の講義・現地調査・特別講義を通して得られた知見をもとに、洋上風力と地域共生に関する課題と提言を整理し、今後の協働の方向性を議論する。	11/24 ～ 11/27 の うち 1日
10	北海道大学サステナビリティ推進機構 加藤 悟 教授 根本 和宜 教授 北海道大学大学院 水産科学研究院 安間 洋樹 教授 北海道大学 地域水産業共創センター 福田 覚 教授 今村 聖祐特定専門職員	総合討論 2	全体の講義・現地調査・特別講義を通して得られた知見をもとに、洋上風力と地域共生に関する課題と提言を整理し、今後の協働の方向性を議論する。	11/24 ～ 11/27 の うち 1日

※講義は記載の日程以降いつでも視聴可能です。7～8は11/16～17に対面で実習を行います。9～10は11/24～27もいずれかの日の13:00～16:15（2コマ連続）に実施します。日程は、受講者が確定してから、受講者の意向を確認しながら決定します。